



このQRコードにア
クセスしますと本校
HPをご覧いただけ
ます。 令和7年10月23日
発行責任者
校長 小野 一豊
電話 26-3905

☆ 第2学期の半分を通過 ☆

今日が第2学期の41日目。82日ある2学期のちょうど半分が終わります。



おでかけアリオス

マート見学（3・4年）



読み聞かせ



クリーン作戦



見学学習（5・6年）



そろばん教室（3・4年）



見学学習（1・2年）



ふれあい弁当

前半もさまざまな行事がありました。今後の大好きな行事というと「持久走記録会」「学習の発表会」でしょうか。空気もずいぶんと涼しくなり、季節が移っていることを感じます。あっという間に終わりそうな2学期です。ぜひ、「〇〇をがんばった！」がまだの人、あと半分あります。納得のいく2学期にしていきましょう。

◆個別最適な学びを目指して◆

ハリウッド俳優のトム・クルーズさんは、「読字障害」をもっていることが公表されています。字の読み書きが難しく台本が読めないというハンディを母親やアシスタントに読んでもらい台本を暗記するという方法で克服し、今の大スターとしての地位を確立しています。

県の教育施策の一つの中に「個別最適な学びを進める」ということがあります。その子どもにとって最も学びやすい環境・方法を提供できるようにすることです。これは、一つの例ですが、過去の勤務校で「読字障害」の児童に対し、ノートへの記述が苦手なためタブレット端末で板書を撮影させるという方法を取り入れたことがあります。

トムさんの話に戻ります。トムさんが障害を克服していることには、二つの視点があります。

- 1 自身が「台本を丸暗記する」というとてつもない努力をしていること
- 2 周囲に支え・助言する人（メンターとも言う）がいること

です。エジソンには母が、野口英世には母が、坂本龍馬には姉がいたことは有名な話です。「本人の努力」と「周囲の支え」この二つが両立することが大切です。前述の板書撮影の場合も、撮影した後に、メンターに読んでもらうとか字を指でなぞるとかそれを何度も繰り返すとか暗記するくらいまでの努力があってこそ有効な方法になるわけです。このような視点を本人も家庭も学校を含めた周囲の人々ももつことが、子どもたち一人一人の幸せと社会全体の幸せである Well-being の実現と「個別最適な学び」を保障する第一歩になると思います。一緒に子どもたちのために学び続けていきましょう。